

事業所名

療育ルームりんごの木

支援プログラム

作成日

2024

年

9

月

1

日

法人（事業所）理念	支援を必要とする地域で暮らす子どもやその家族に寄り添い、「子どもの最善の利益」の実現に向けた支援を目指しています。「子どもの最善の利益」を軸にしてチームで支援することを大切にしています。					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりの発達を見立て、ていねいな療育を提供します。 ◎子どもが安心感と信頼感を持って活動できるよう、子どもの主体としての思いや願いを受け止めます。 ◎様々な遊びや多様な体験活動の機会を提供することを通じて、子どもの自尊心や主体性を育てます。 ◎発達段階に合わせた子どもにとっての楽しい「遊び」を通して様々な力が身につくよう支援します。 					
営業時間	9時	0分	17時	30分	まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>ねらい：基本的な生活スキルの獲得／生活習慣や生活リズムの形成／健康状態の維持・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎衣類の着脱、排泄、清潔保持などの基本的な生活習慣をそれぞれの発達の過程や特性に配慮し、スモールステップで獲得できるよう支援します。 ◎健康で快適、安全に過ごせるよう環境に留意しながら、お子さんの体調の変化や痛みなど本人が示す小さなサインを大人が観察し、対応すると共に意思表示を支援します。 ◎生活の中で様々な遊びを通じた学びが促進されるよう時間や空間を構造化して環境を調整したり、興味関心や理解度に合った教材や活動を提供します。 				
	運動・感覚	<p>ねらい：姿勢と運動・動作の基本的技能の向上／身体の移動能力の向上／保有する感覚の活用／感覚の補助及び代手段の活用／感覚特性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎楽しい活動や日々のルーティン化した生活動作などを通して日常生活に必要な姿勢保持や動作を習慣化できるよう支援します。 ◎身体を動かす活動や遊具、動作を模倣する遊びを通して身体を動かす楽しさや様々な姿勢の変化、動かし方が経験できるよう支援します。 ◎様々な感覚（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・前庭覚・固有覚）を活用した遊びや活動（感覚遊びや素材遊び、揺れる遊びやふれあいあそびなど）を提供します。また、感覚の働きの特性（過敏や鈍麻）を理解した関わりや環境調整を行います。 ◎保有する感覚器官や運動機能を補助する眼鏡・補聴器・補装具などを本人が効果的に活用できるよう支援します。（眼鏡の場合、拒否のない範囲で本人が見たくて集中している時間から短時間で始めるなど。） ◎身体の協調性や手指の巧緻性を向上させるための遊びや活動を提供します。 				
	認知・行動	<p>ねらい：認知の特性についての理解と対応／対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成）／行動障害への予防及び対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎見通しを持って場面や流れ、手順を捉え自発的に取り組めるように個々の認知特性を理解し環境調整を行い、効果的に周囲の情報を捉えられるよう支援します（視覚的・聴覚的・触覚的にわかりやすく提示）。 ◎「やりたい」「やってみよう」「できそう」と自ら取り組む意欲を育て、「できた」「またやりたい」という成功体験を重ねられるよう支援し、自己効力感や自信につなげます。 ◎物の機能や形、大小、色、数量の違いや面白さに気づける玩具や活動を設定し、興味関心を広げたり概念の形成を支援します。 ◎認知の偏りやこだわり行動に対して、子どもの適切な行動を具体的に褒めたり、成果だけでなく過程や努力を評価したり、複数の選択肢や方法を提供することで適切な行動や柔軟な思考を促します。 				
	言語コミュニケーション	<p>ねらい：コミュニケーションの基礎的能力の向上／言語の受容と表出／言語の形成と活用／人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得／コミュニケーション手段の選択と活用／状況に応じたコミュニケーション／読み書き能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎発達段階や興味に沿った活動や遊び、玩具や絵本を提供し、共同注意を獲得したり、周囲の物や人に向けて働きかける意欲を高めたり、興味関心を広げる支援をします。 ◎活動や遊びを通して人とのやり取りが「楽しい」と感じられる体験を積み重ねられるよう支援します。 ◎子どもが表情、身振り、視線、発声などで表現している要求、拒否、気持ちに応答的に関わり、伝わった経験につなげ表出意欲を高められるよう支援します。 ◎子どもが自分の気持ちや意図を表現できるように、また相互に伝え合えるように大人が言葉を添えて語りかけたり、仲介・代弁して支援します。 ◎子どもと経験を共有しながら、見ている物、体験していることを身振りや短い言葉で同じ場面で同じ言葉を繰り返し伝えることで言葉に親しみ、体験と言葉を結びつけ理解と表出につなげます。 				
	人間関係社会性	<p>ねらい：アタッチメント（愛着）の形成と安定／遊びを通じた社会性の発達／自己の理解と行動の調整／仲間づくりと集団への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎子どもが気持ちやニーズに寄り添い、共感を示すことで安心感を得たり自分の感情に折り合いをつけることができるよう支援します。また、見通しが持てる環境やルーティンを提供することで子どもが安定して関わり合ったり探索できるように支援します。 ◎活動や遊びを通して人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援します。 ◎感覚遊びや運動遊びから、見立て遊び、ごっこ遊び、1人遊びから並行遊び、連合遊び、共同遊びなど、社会性の発達を段階に沿って大人が仲介しながら支援します。 ◎子どもが表現する感情や気持ちを理解し共感する姿勢を示したり、言葉で表現できるようサポートし、気持ちや行動の調整ができるよう支援します。 ◎集団に参加するための手順やルールをわかりやすく提示し、集団活動や遊びに参加できるよう支援します。 ◎他者と一緒に取り組む活動を設定し、成功体験を積むことで集団活動の楽しさを味わったり、仲間づくりにつながるよう支援します。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ◎家族からの相談に対する助言を行う ◎保護者会を実施し、生活状況や困りごとの共有を図る ◎定期面談を行いお子さんの成長や課題について保護者と共有しプログラムに活かす ◎家族支援プログラム（ペアレントプログラム、講演会、親子参加ワークショップ等） 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ◎お子さんの発達段階に合わせて地域の保育・教育が受けられるよう移行先と連携を図る。 ◎就学についての情報提供（就学相談）
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ◎関係機関各所との連携（相談支援事業所、幼稚園、こども家庭支援センター、保健所等） ◎連絡協議会への参加 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ◎各種研修への参加 ◎資格取得の支援 ◎キャリアパス導入により多角的な視点から職員の成長を支える
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ◎子育てやこどもの発達に関する演奏会の開催 ◎保護者会の開催 ◎ワークショップの開催 					